

食品の安全性に関する地域の人材育成講座について

	頁
1. 食品の安全性に関する地域の指導者育成講座	1
2. リスクコミュニケーター育成講座	
(1) ファシリテーター型	8
(2) インタープリター型	16

平成 20 年度食品の安全性に関する地域の指導者育成講座実施報告

- 日時・場所：平成 20 年 7 月 11 日（金）佐賀県・アバンセ
平成 20 年 8 月 22 日（金）名古屋市・名古屋市中央卸売市場本場中央管理棟
平成 20 年 8 月 26 日（火）愛媛県、松山市・愛媛県中予地方局
平成 20 年 9 月 5 日（金）京都府・平安会館
平成 20 年 10 月 21 日（火）広島県・広島県立総合体育館
平成 20 年 11 月 19 日（水）群馬県・群馬県庁
平成 20 年 11 月 25 日（火）福島県・福島県消費生活センター
平成 20 年 12 月 17 日（水）長崎県・長崎県農協会館
平成 21 年 1 月 14 日（水）宮崎県・宮崎県総合保健センター
平成 21 年 1 月 23 日（金）岩手県・岩手県歯科医師会館
平成 21 年 1 月 27 日（火）熊本県・グランメッセ熊本
平成 21 年 1 月 28 日（水）鹿児島県・かごしま県民交流センター
平成 21 年 2 月 6 日（金）富山県・富山県民会館
平成 21 年 2 月 10 日（火）静岡県・静岡県庁
平成 21 年 2 月 20 日（金）高知県、高知市：高知市中央卸売市場管理棟
- 参加者総計：832 名（消費者、食品関連事業者、地方自治体職員など）
- 議事概要：
 - （1）開会 司会：自治体職員
 - （2）オリエンテーション（5 分）
 - 説明：内閣府食品安全委員会事務局勧告広報課職員
 - 本講習会の目的、プログラムについて説明。
 - （3）講演（50 分） 質疑応答（20 分）
 - 「食品安全のためのリスク分析（食品のリスクとのつきあい方）」
 - 講師：内閣府食品安全委員会事務局職員
 - スライドを使用して講演。
 - （4）演習
 - 「クロスロード『食の安全編』」
 - （コーディネーター）内閣府食品安全委員会事務局技術参与
 - 演習に用いるゲーミングシミュレーション「クロスロード」についてスライドを使用して説明後、参加者がグループに分かれ、実際に演習を行った。
 - （5）意見交換
- アンケート：
 - 参加者に実施後アンケートをおこなった。結果は別添のとおり。

平成20年度 食品の安全性に関する地域の指導者育成講座 開催実績一覧表

No.	開催地	主催	会場	日程	開催時間	参加者数(人)								講師
						合計	内訳					(再掲)		
							行政	事業者	消費者・生協	生産者	その他	食品安全モニター	FSC公募	講演／演習
1	佐賀県	食品安全委員会、佐賀県	アバンセ 4階 第3研修室	平成20年7月11日(金)	13:00～17:00	60	20	8	19	2	2	0	12	小平／横田
2	名古屋市	食品安全委員会、名古屋市	名古屋市中央卸売市場本場中央管理棟(本館)9階大会議室	平成20年8月22日(金)	13:00～17:00	39	19	13	5	0	2	0	4	手塚／中島
3	愛媛県	食品安全委員会、愛媛県、松山市、愛媛農政事務所	愛媛県中予地方局7階大会議室	平成20年8月26日(火)	13:00～16:30	61	30	14	17	0	0	1	1	手塚／戸部
4	京都府	食品安全委員会、京都府	平安会館 2階「朱雀」の間	平成20年9月5日(金)	13:00～17:00	47	27	11	8	0	1	2	9	小平／戸部
5	広島県	食品安全委員会、広島県	広島県立総合体育館地下1階 中会議室	平成20年10月21日(火)	13:00～16:30	54	34	13	6	1	0	1	1	小平／中島
6	群馬県	食品安全委員会、群馬県	群馬県庁 28階 281 A・B会議室	平成20年11月19日(水)	13:00～16:45	46	9	8	29	0	0	0	3	齊藤／横田
7	福島県	食品安全委員会、福島県	福島県消費生活センター研修室	平成20年11月25日(火)	13:00～17:00	33	20	4	9	0	0	2	11	戸部／横田
8	長崎県	食品安全委員会、長崎県	長崎県農協会館 701 会議室	平成20年12月17日(水)	13:00～17:00	73	44	18	5	2	2	2	2	齊藤／戸部
9	宮崎県	食品安全委員会、宮崎県	宮崎県総合保健センター5階大研修室	平成21年1月14日(水)	13:00～17:00	61	24	24	13	0	0	0	1	齊藤／横田
10	岩手県	食品安全委員会、岩手県	岩手県歯科医師会館「8020」プラザ	平成21年1月23日(金)	13:00～16:30	65	23	28	8	3	3	1	4	手塚／横田
11	熊本県	食品安全委員会、熊本県	グランメッセ熊本 2階 大会議室	平成21年1月27日(火)	13:30～17:00	62	23	4	30	3	2	0	0	柴田／中島
12	鹿児島県	食品安全委員会、鹿児島県	かごしま県民交流センター大ホール	平成21年1月28日(水)	10:30～15:30	63	12	23	17	10	1	0	1	柴田／中島
13	富山県	食品安全委員会、富山県	富山県民会館 7階 701 会議室	平成21年2月6日(金)	13:00～17:00	47	27	4	16	0	0	1	5	柴田／横田
14	静岡県	食品安全委員会、静岡県	静岡県庁別館8階第1会議室A・B	平成21年2月10日(火)	13:00～17:00	60	30	16	3	1	1	1	10	柴田／横田
15	高知県	食品安全委員会、高知県、高知市	高知市中央卸売市場管理棟3階大会議室	平成21年2月20日(金)	13:00～17:00	61	21	19	19	1	1	1	4	見上委員長／横田
合計						832	363	207	204	23	15	12	68	

1会場あたり平均参加者数：

55名

※小、中、高、大学等を所属とする者は「その他」に分類

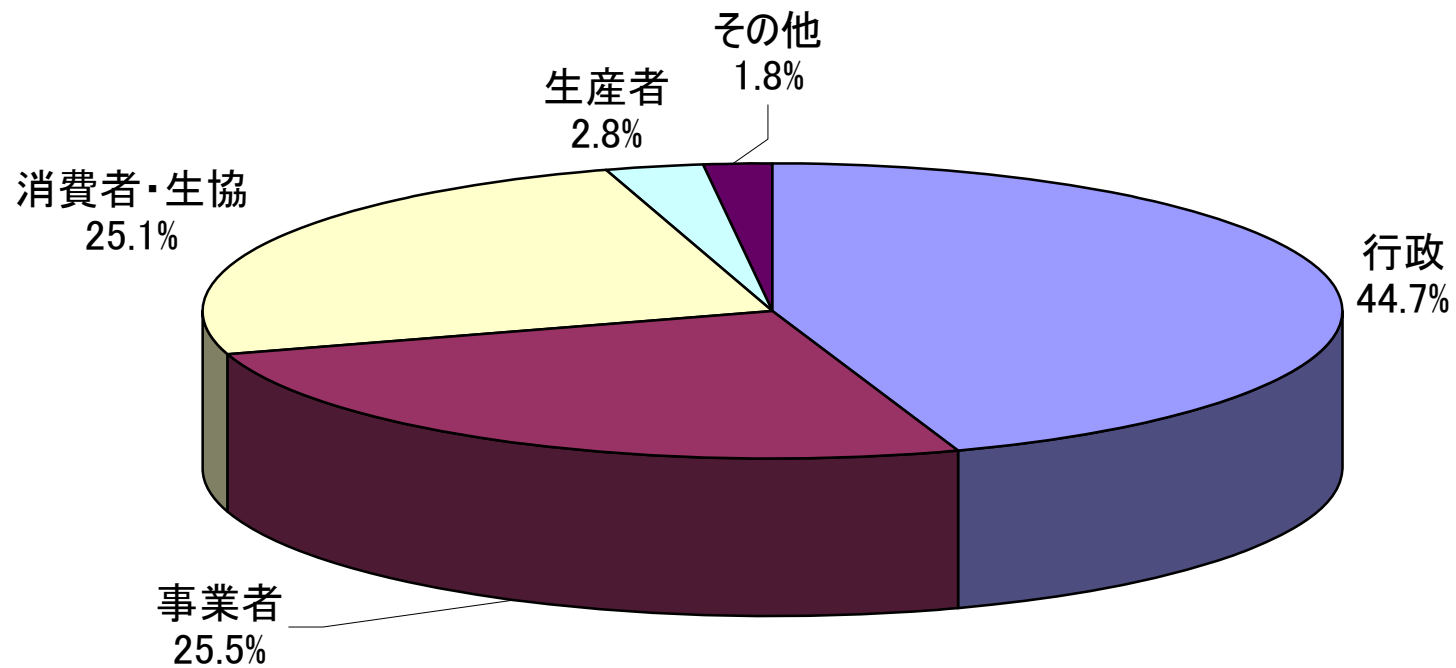
※栄養士・医師会等については、事業者に分類

※生産者は、農業、生産者組合を含む

※消費者は、消費者団体及び無所属を含む

※自治体の食の安全・安心推進協議会については、消費者に分類

平成20年度 食品の安全性に関する地域の指導者育成講座
参加者内訳

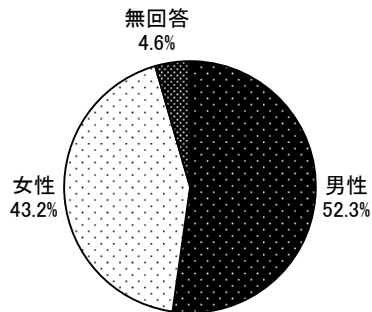


平成20年度食品の安全性に関する地域の指導者育成講座 アンケート集計

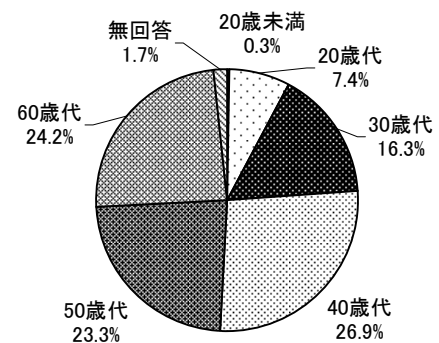
参加者数： 831
アンケート回収数： 769

<アンケート記入者について>

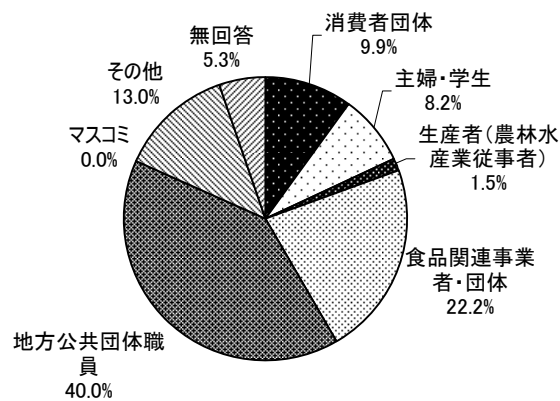
性別



年齢

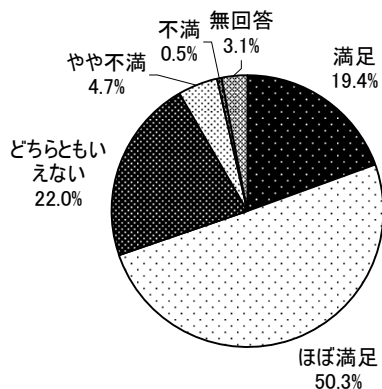


職業(立場)

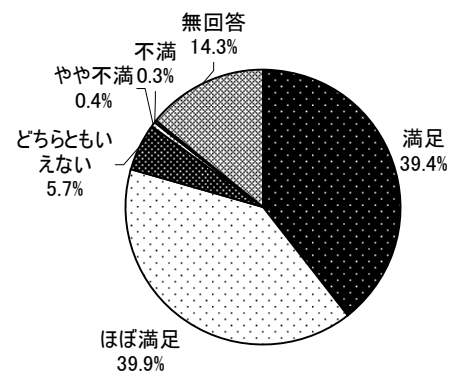


1. 今回の講座の内容はどうでしたか。

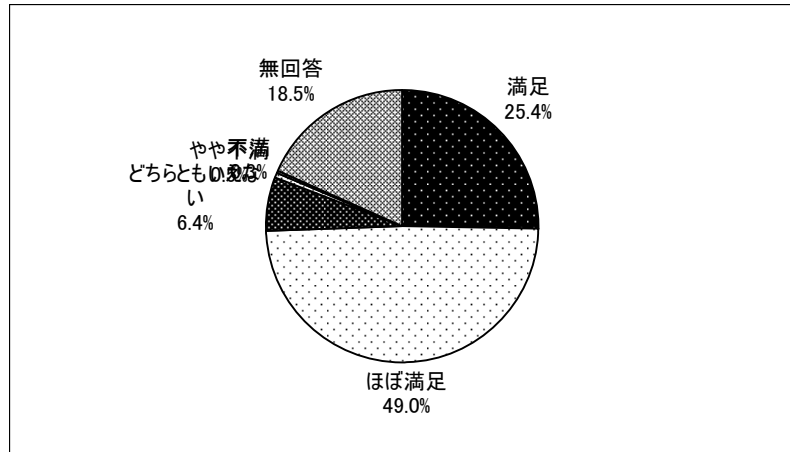
講演



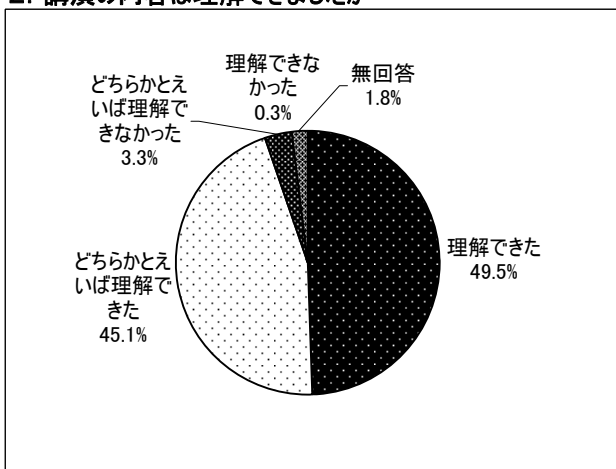
演習(クロスロード)



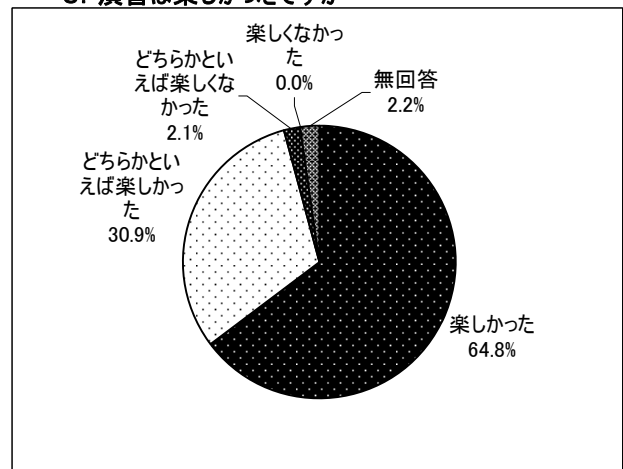
全体を通して



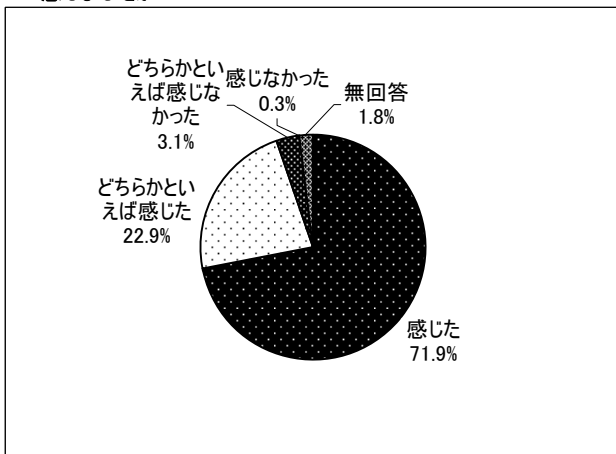
2. 講演の内容は理解できましたか



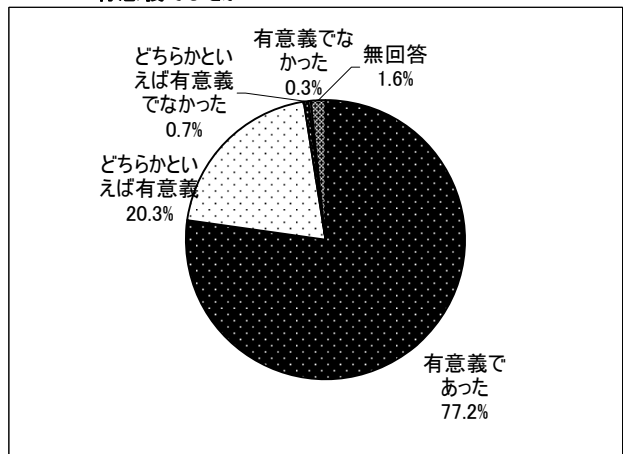
3. 演習は楽しかったですか



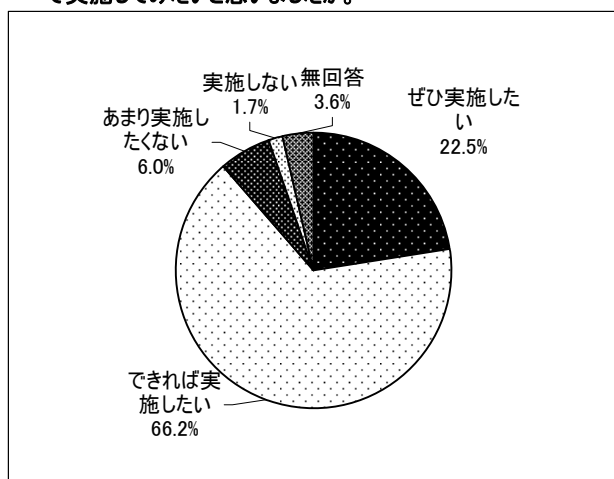
4. 演習に参加されて、1つの問題に多様な意見があると感じましたか



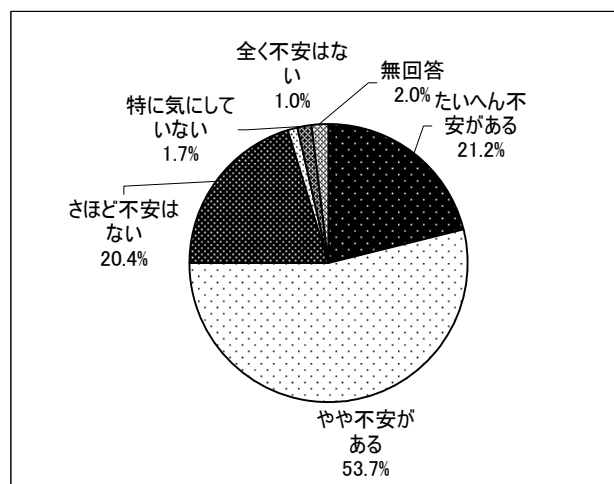
5. 演習に参加されて、他の参加者の意見をきく事は有意義でしたか



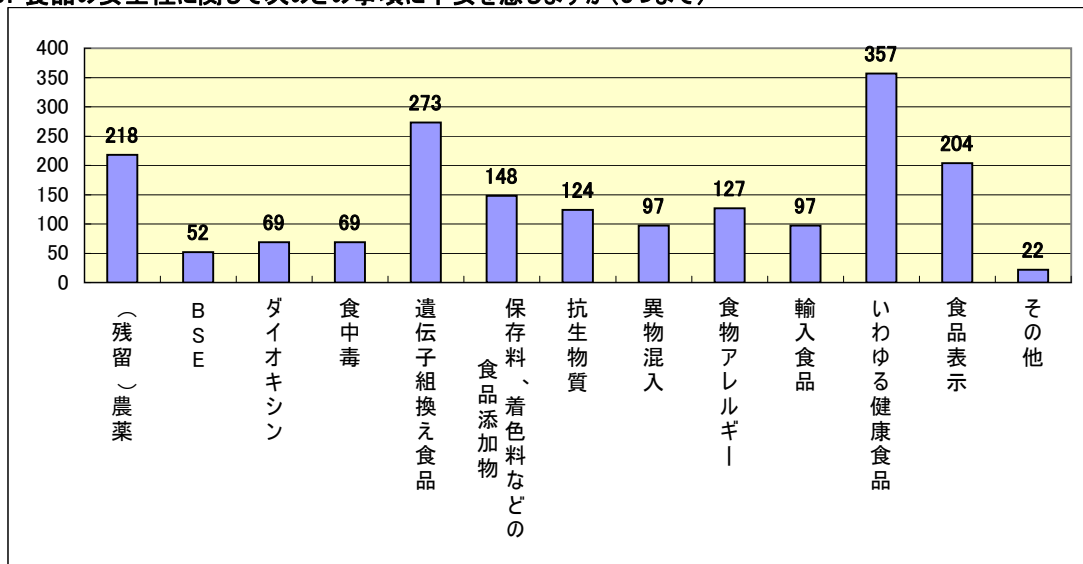
6. クロスロード「食の安全編」を今後あなたの日頃の活動で実施してみたいと思いましたか。



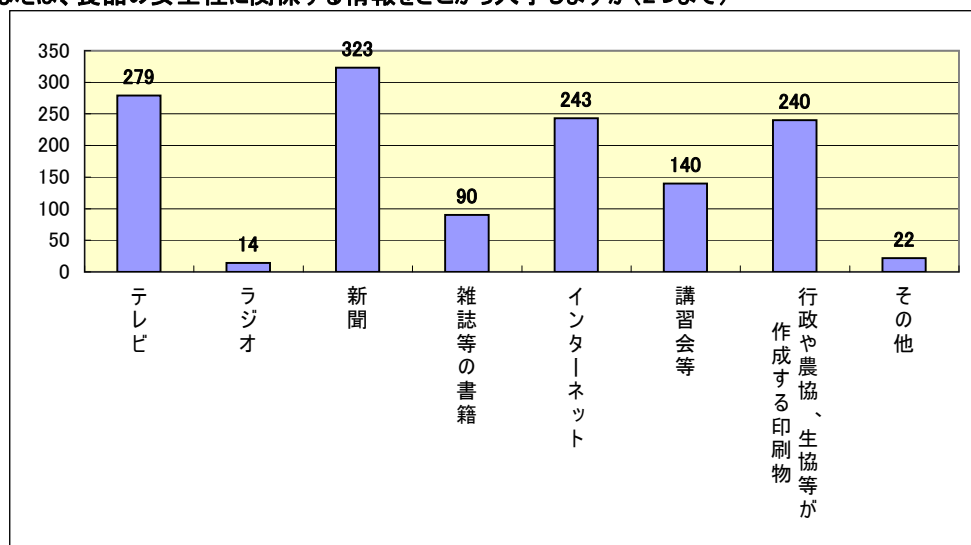
7. 食品の安全性についてどう感じていますか



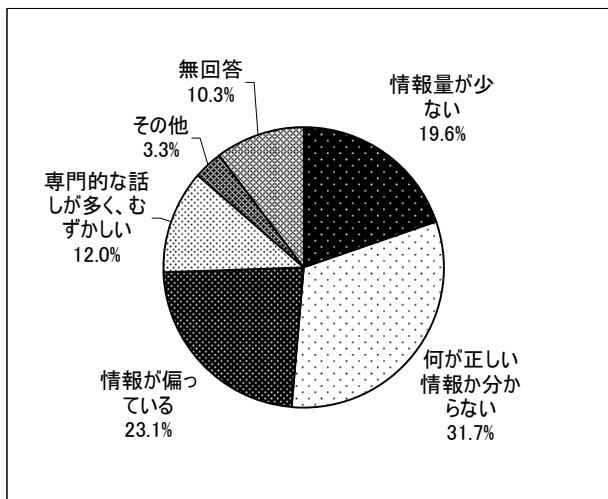
8. 食品の安全性に関して次のどの事項に不安を感じますか(3つまで)



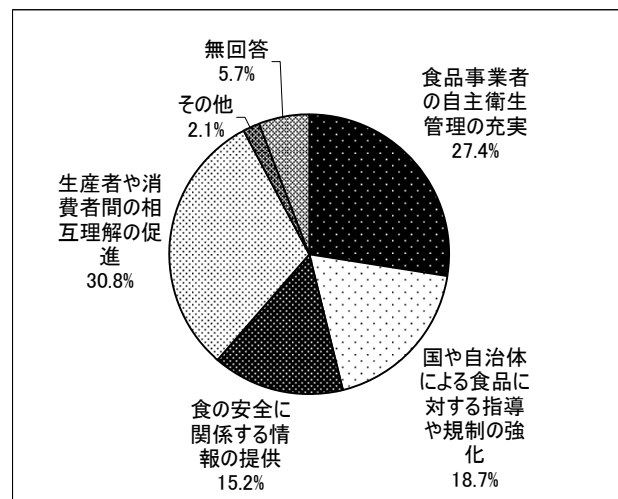
9. あなたは、食品の安全性に関係する情報をどこから入手しますか(2つまで)



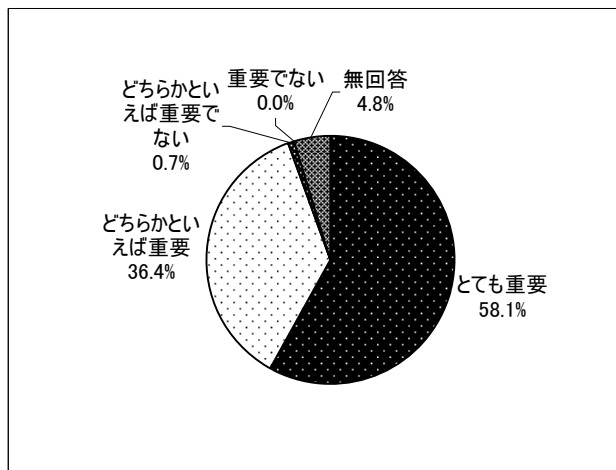
10. 食品の安全性に関する情報の内容について、どう思われますか



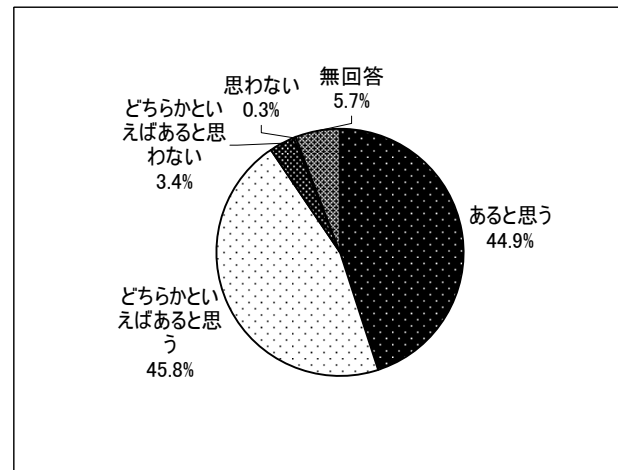
11. 食品の安全性確保のためにはどんな方法が最も効果があると思いますか



12. リスクコミュニケーションについてどう思いますか。



13. あなたの日頃の活動において、リスクコミュニケーション（情報伝達）について改善できるところがあったらと思いますか。



14. あなたは本講座を受講したことをどのような形で役立てていこうとお考えですか(要約)

「職場での研修や、消費者への啓蒙・啓発活動に役立てたい。」「正確な情報を伝えていきたい」といった意見のほか、特に、クロスロードに関しては意見が多かった。「講習会等でクロスロードを実施してみたい」、「クロスロードを通じて感じたコミュニケーションの方法を役立てたい」、「一つの問題に対し、多様な意見がある事を実感した。人の意見を聞く時の参考にしたい」「問題を小・中学生バージョンにして、人の話を「聞くこと」「話すこと」の大切さを体感してほしい」等。

15. 今回の講座について改善した方がよい点、ご意見・ご要望等をお書き下さい(要約)

開催にあたって)

時間が長い、様々な立場の方に参加してほしい、一般の方にも参加を呼びかけるべき 等

講演)

難しかった、具体例を示してほしい、内容が盛りだくさんだった 等

演習(ゲーミングシミュレーション))

カードが小さくて見づらい、演習に入る前にアイスブレイクを入れるとよい、1つのケースを掘り下げて議論できるとよかった 等

16. その他、本日の感想をご記入下さい

演習を取り入れた参加型の講座は有意義で楽しく学ぶことが出来た、他人の多様な考え、立場によって異なった意見の受け止めの大切さ、それを踏まえた判断が重要だと思ったという内容の意見の他、下記のような意見もあった。「参加者が今後具体的にどのように指導者になっていくのかが見えない」「クロスロードの設定は今後検討の余地がある」等

平成20年度食品の安全性に関するリスクコミュニケーター（ファシリテーター型）育成講座 実施報告

○日時・場所：平成20年10月15日（水）愛知県・愛知県三の丸庁舎
平成20年10月22日（水）山口県・山口県教育会館
平成20年11月11日（水）岡山県・岡山国際交流センター
平成20年11月25日（水）福岡県・福岡県吉塚合同庁舎
平成21年1月16日（金）石川県・石川県庁
平成21年2月13日（金）鳥取県・鳥取県立県民文化会館
平成21年2月17日（火）和歌山県・和歌山自治会館
平成21年3月6日（金）兵庫県・兵庫県民会館

○参加者総計：207名（指導者育成講座受講者他）

○議事概要：

- （1）開会・趣旨説明 司会：自治体職員
- （2）DVD上映 「21世紀の食の安全～リスク分析手法の導入～」
- （3）ファシリテーション基礎講座

講師：内閣府食品安全委員会事務局職員

<講義>

◇導入とオリエンテーション

●講座の趣旨、進め方の説明

◇講義「ファシリテーションとは」

●ファシリテーションの考え方と、4つの基本スキルを学ぶ

<グループワーク>

◇セッション1・アイスブレイクと使えるワークショップ（その1）～ワールド・カフェ～

●グループワークに入るための準備と、多人数での情報共有や意見交換を行って相互理解を深めるワークショップを学ぶ

◇セッション2・使えるワークショップ（その2）～付箋を使った話し合い～

●付箋を使って、グループ内の意見をまとめるワークショップを学ぶ

◇ふりかえり

- （4）閉会

○アンケート：

参加者に実施後アンケートをおこなった。結果は別添のとおり。

平成20年度 食品の安全性に関するリスクコミュニケーター（ファシリテーター型）育成講座 開催実績一覧表

（別紙）

No.	開催地	主催	会場	日程	開催時間	参加者数(人)									講師
						合計	内訳					(再掲)			
							行政	事業者	消費者・生協	生産者	その他	食品安全モニター	FSC公募		
1	愛知県	食品安全委員会、愛知県	愛知県三の丸庁舎 8階 会議室801	平成20年10月15日(水)	9:30～17:00	32	19	5	8	0	0	0	5	小平／中島	
2	山口県	食品安全委員会、山口県	山口県教育会館 5階 第2研修室	平成20年10月22日(水)	9:15～16:45	21	7	0	14	0	0	0	1	小平／中島	
3	岡山県	食品安全委員会、岡山県	岡山国際交流センター 5階会議室(1)	平成20年11月11日(火)	9:30～17:00	28	0	8	19	1	0	0	0	小平／中島	
4	福岡県	食品安全委員会、福岡市	福岡県古塚合同庁舎 7階特3会議室	平成20年11月25日(水)	9:30～17:00	14	11	1	1	0	1	1	3	小平／中島	
5	石川県	食品安全委員会、石川県	石川県庁 11階 1102会議室	平成21年1月16日(金)	9:30～17:00	31	10	6	11	2	2	0	1	小平／中島	
6	鳥取県	食品安全委員会、鳥取県	鳥取県立県民文化会館(とりぎん文化会館) 2階 会議室2	平成21年2月13日(金)	9:30～17:00	16	7	3	4	2	0	0	2	小平／中島	
7	和歌山県	食品安全委員会、和歌山県	和歌山県自治会館 2階 203会議室	平成21年2月17日(火)	9:30～17:00	31	6	9	13	0	3	1	2	小平／中島	
8	兵庫県	食品安全委員会、兵庫県	兵庫県民会館 3階 303号室	平成21年3月6日(金)	9:30～17:00	34	17	11	5	0	1	2	4	小平／中島	

合計

207	77	43	75	5	7	4	18
-----	----	----	----	---	---	---	----

1会場あたり平均参加者数:

26名

※小、中、高、大学等を所属とする者は「その他」に分類

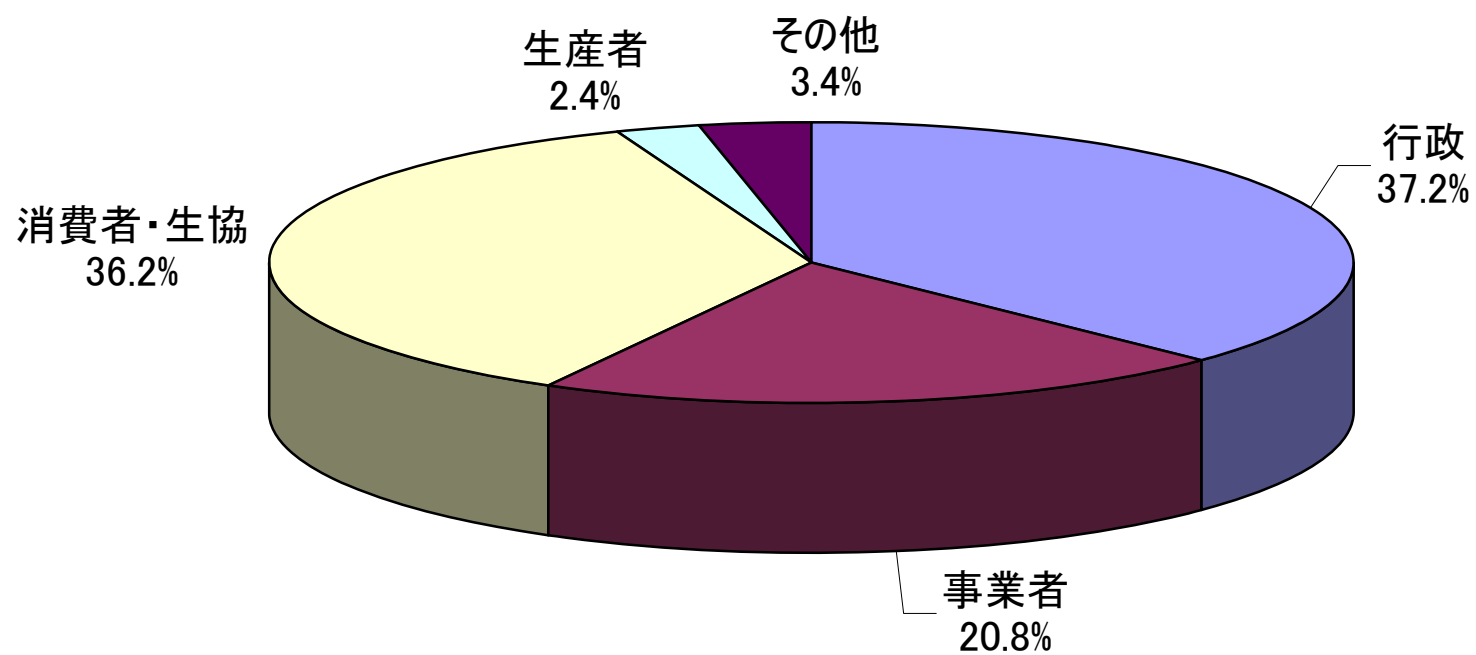
※栄養士・医師会等については、事業者に分類

※生産者は、農業、生産者組合を含む

※消費者は、消費者団体及び無所属を含む

※自治体の食の安全・安心推進協議会については、消費者に分類

平成20年度 食品の安全性に関するリスクコミュニケーター育成講座
(ファシリテーター型)参加者内訳

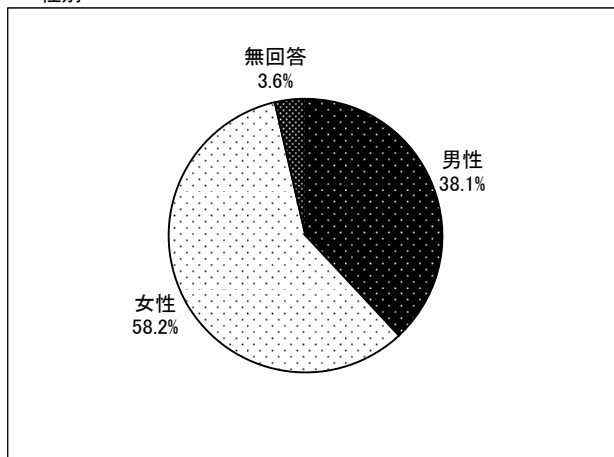


平成20年度食品の安全性に関するリスクコミュニケーター育成講座 (ファシリテーター型) アンケート集計

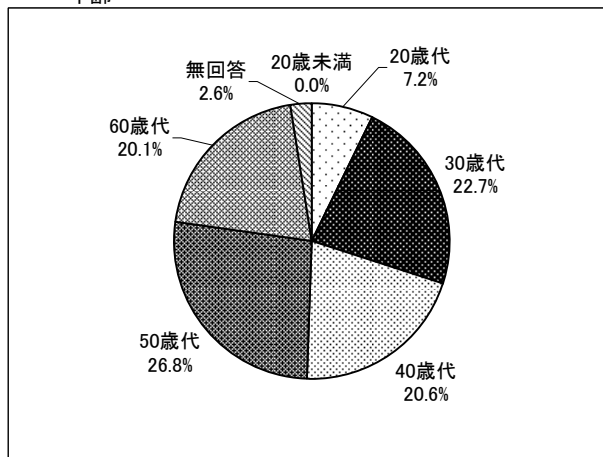
参加者数 : 204
アンケート回収数 : 194

<アンケート記入者について>

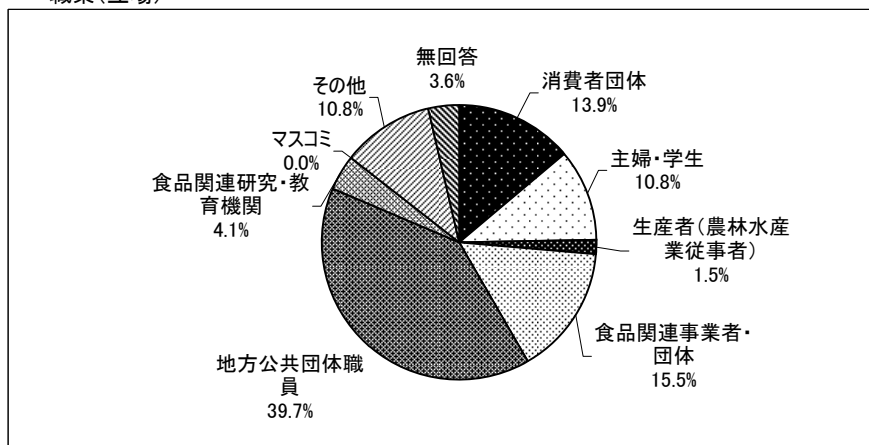
性別



年齢

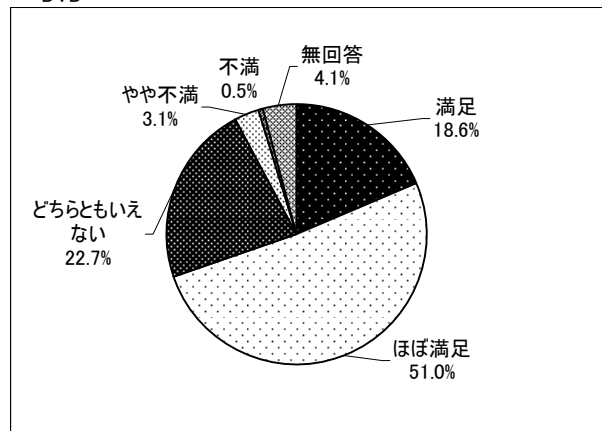


職業(立場)

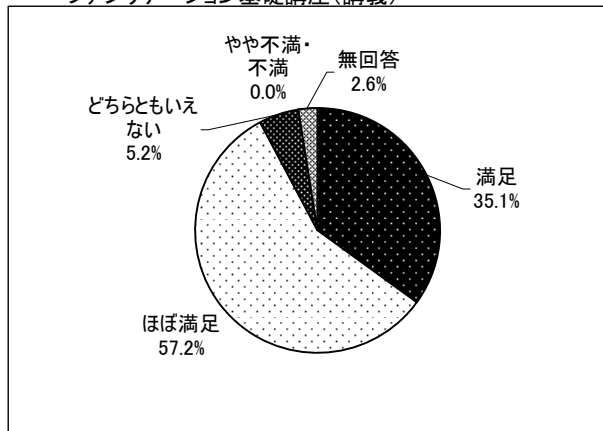


1. 今回の講座の内容はどうでしたか。

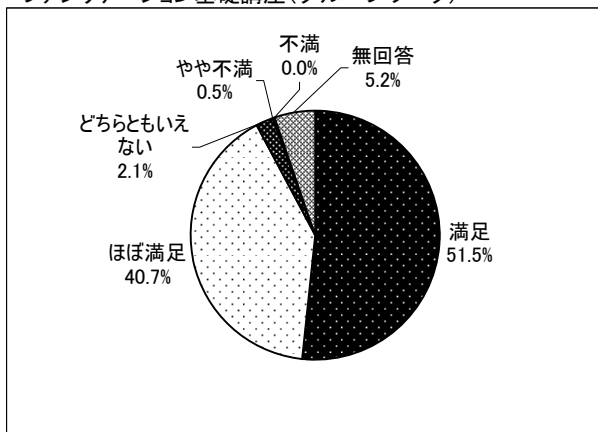
DVD



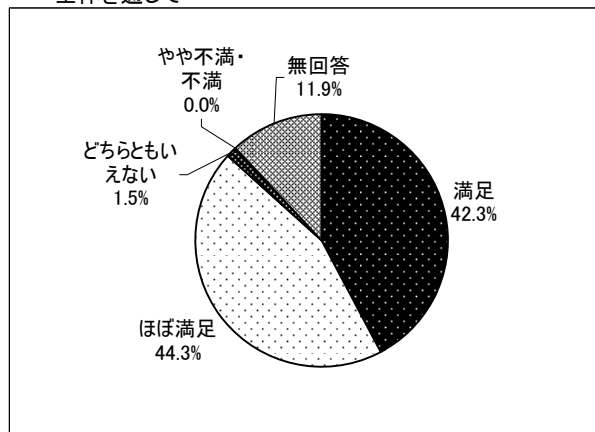
ファシリテーション基礎講座(講義)



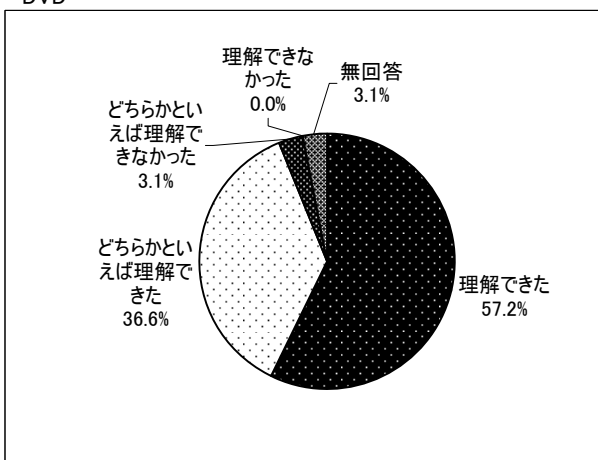
ファシリテーション基礎講座(グループワーク)



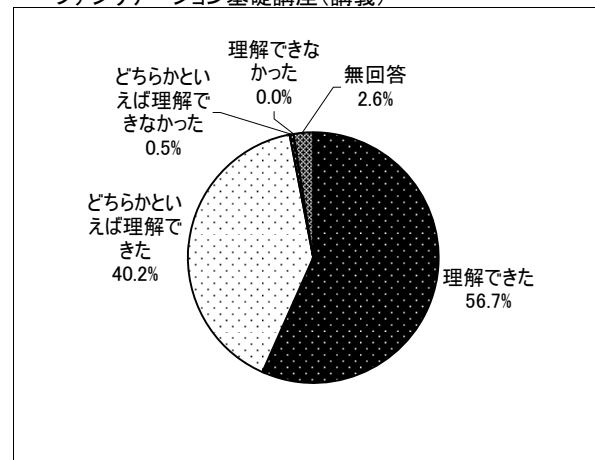
全体を通して



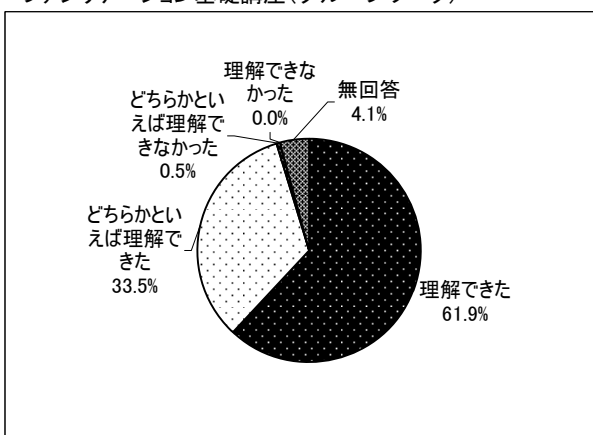
2. 講座の内容は理解できましたか DVD



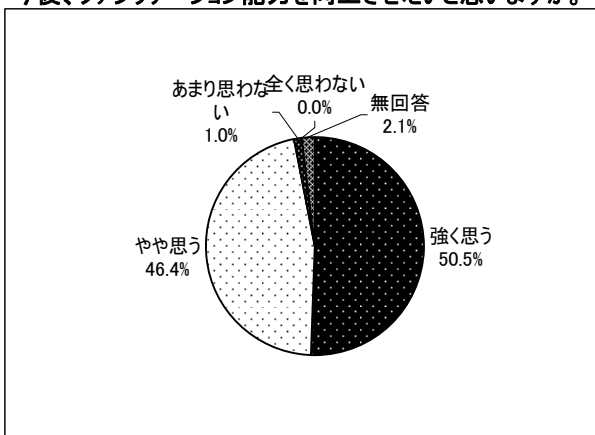
ファシリテーション基礎講座(講義)



ファシリテーション基礎講座(グループワーク)



3. 今後、ファシリテーション能力を向上させたいと思いますか。



4. 本日の講座で得たことを、今度どのような場で活かしていきたいですか。 DVD(要約)

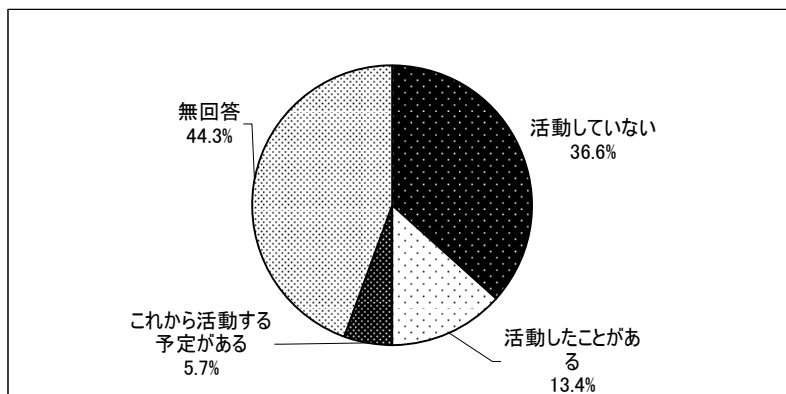
自身が所属する団体、グループ、集まりなどで活用したい、社内研修や講習会での情報提供に使いたいといった意見が多くみられた。一方、特に何かに生かせるものではない、もう一つ何か不足するといった消極的な意見もあった。
その他、「目で見るDVDが一番わかりやすい」、「食品安全委員会の活動周知のためにわかりやすい内容であった」というDVDに対する感想が寄せられた。

ファシリテーション基礎講座(要約)

職場の会議や身近な集まりなどでファシリテーションの手法を取り入れてみたいといった意見や、窓口業務や苦情対応でも活かしてみたいといった意見が多かった。また、自ら小規模のワークショップをやってみみたいといった意見もあった。

5. 過去に食品安全委員会が主催した「食品の安全性に関する地域の指導者育成講座」を受講された方へお尋ねします。

(1) 本講座で得た知識・経験を踏まえ、地域の方にリスク分析の考え方を浸透させるため、受講後、何か活動をされましたか。



※ 受講者と非受講者を区別していないため、割合(パーセンテージ)はアンケート回答数を母数としている。

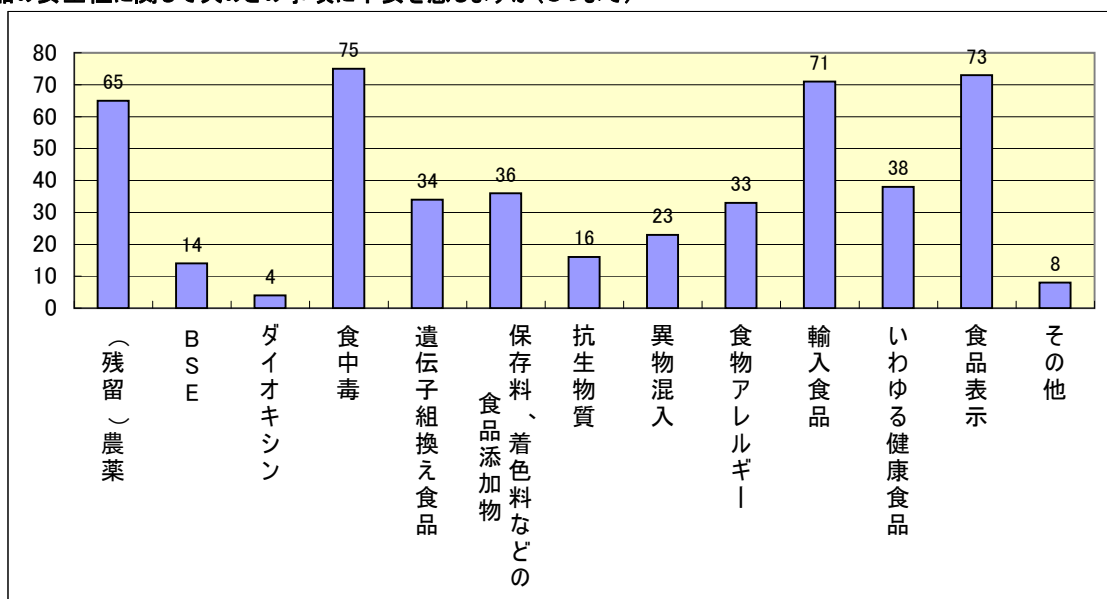
(2) (1)で②または③と答えられた方へお尋ねします。それはどのような活動ですか。(要約)

「地域の団体に招かれ食の安全やリスク分析の講義を行った」「クロスロードを実践した」「パンフレットの配布」「DVDの貸与」等

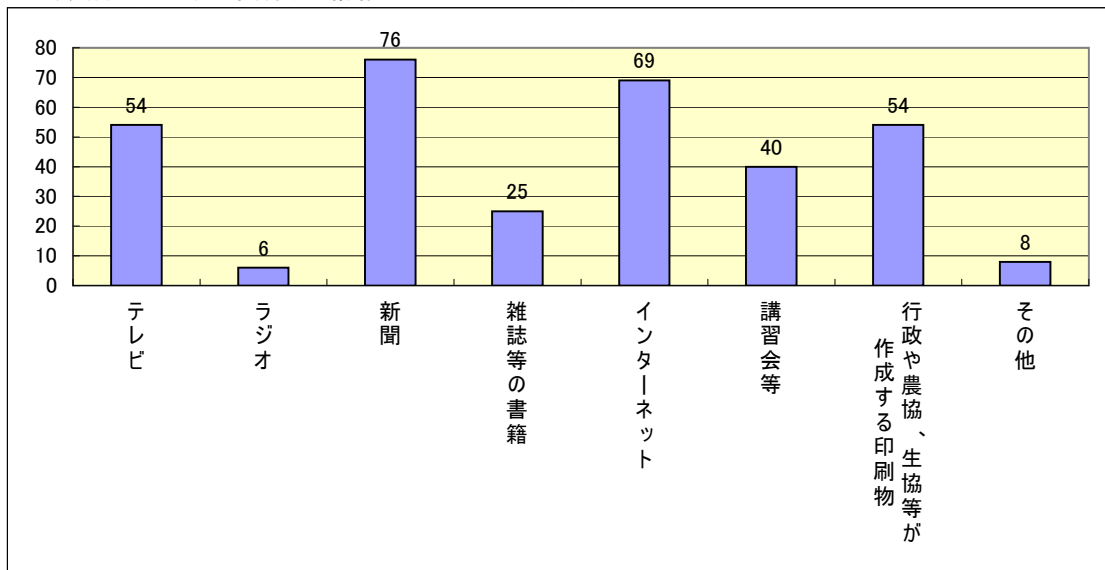
(3) 今後あなたが上記の活動を続けていく上で、自治体及び食品安全委員会からどのような支援があるとよいですか。(要約)

「食品安全に関する客観的な情報」「資料、正確な情報の提供」「フォローアップ講座」「リスクコミュニケーターの存在の周知」等

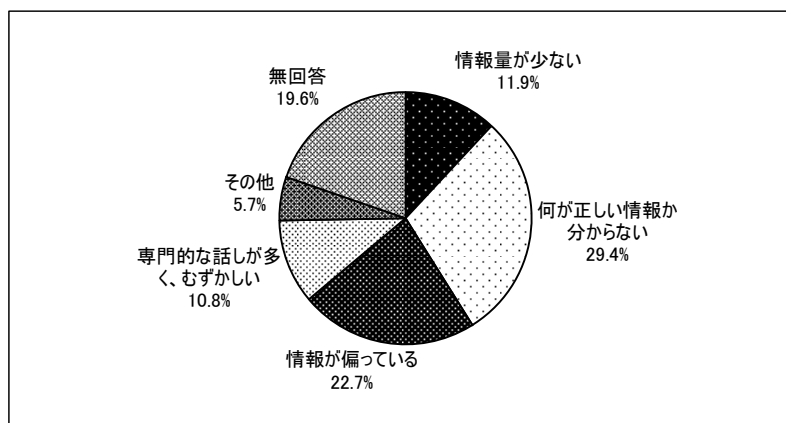
6. 食品の安全性に関して次のどの事項に不安を感じますか(3つまで)



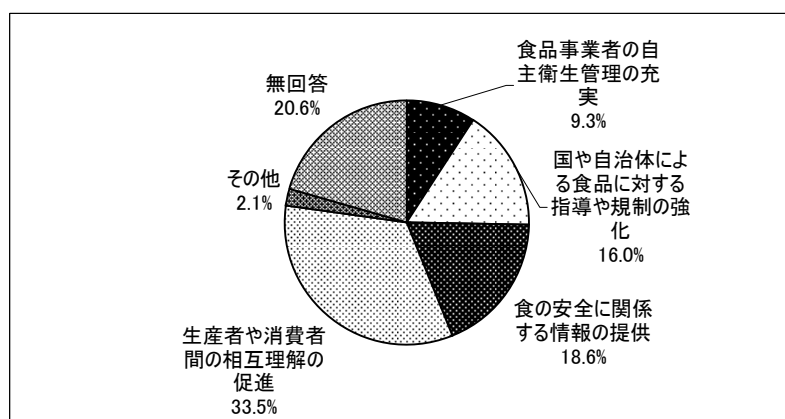
7. あなたは、食品の安全性に関する情報をどこから入手しますか(2つまで)



8. 自分が接する機会の多い食品の安全性に関する情報の内容について、どうわれますか。



9. 食品の安全性確保のためにはどんな方法が最も効果があると思いますか



10. 今回の講座について改善した方がよい点、ご意見・ご要望等をお書き下さい(要約)

講座の時間について))

時間が長すぎる、講座の内容からもう少し時間がほしかった 等

開催にあたり))

もう少し他の人がどんな立場・思いを持っているのか聞いたうえで講義を受けたかった、行政関係者の割合が多いので業者や消費者の立場の人が参加しやすいようにすべき、講座の目的が不明瞭であった 等

情報提供))

食品安全委員会が持っている色々な情報について教えてもらう時間があると良かった 等

11. その他、本日の感想をご記入下さい(要約)

「楽しかった」「勉強になった」「いい経験をした」「充実した」、といった感想が多く、また、「実際に体験することにより、ファシリテーションの難しさや面白さが伝わった。」「今後も活用したい。」「自分の見聞を広げるいい機会になった」といった肯定的な内容が多かった。

一方、「参加者に偏りがある」、「活用場面の提案がなく活用する目的がわかりにくい」といった意見もあった。

平成20年度食品の安全性に関するリスクコミュニケーター（インタープリター型）育成講座 実施報告

○日時・場所：

平成20年11月12日（水）～13日（木）徳島県・徳島県庁

平成20年11月26日（水）～27日（木）北海道・かでる2・7（北海道立道民活動センター）

平成21年1月21日（水）～22日（木）秋田県・秋田県庁 第二庁舎

平成21年1月28日（水）～29日（木）福岡市・福岡市立婦人会館

平成21年2月3日（火）～4日（水）大阪府・大阪キャッスルホテル

平成21年2月5日（木）～6日（金）栃木県/宇都宮市・宇都宮市保健所

平成21年2月19日（木）20日（金）広島市・広島市保健所

○参加者総計：168名

○議事概要：

<徳島県、北海道の場合>

（1日目）

- 1）導入編：食品安全委員会とインタープリター
- 2）食品安全とリスク認知
- 3）地域のリスクコミュニケーション活動の事例

（2日目）

- 4）リスク評価結果を理解するために
- 5）スキル編：わかりやすく伝えるとは？
- 6）閉会

<秋田県、福岡市、大阪府、栃木県/宇都宮市、広島市の場合>

（1日目）

- 1）導入編：食品安全委員会とインタープリター
- 2）地域のリスクコミュニケーション活動の事例
- 3）リスク評価結果を理解するために（パート1）

（2日目）

- 4）リスク評価結果を理解するために（パート2）
- 5）食品安全とリスク認知
- 6）スキル編：わかりやすく伝えるとは？
- 7）閉会

○アンケート：

参加者に実施後アンケートをおこなった。結果は別添のとおり。

平成20年度 食品の安全性に関するリスクコミュニケーター(インタープリター型)育成講座 開催実績一覧表

No.	開催地	主催	会場	日程	開催時間	参加者数(人)						講師
						合計	内訳					
							行政	事業者	消費者・生協	生産者	その他	
1	徳島県 (四国ブロック)	食品安全委員会 徳島県	徳島県庁11階 講堂	平成20年11月12日 (水) ～13日(木)(2日間)	1日目:13:00-16:30 2日目:9:30-16:30	16	0	4	3	0	9	小平/手塚 /岡田/隈本
2	北海道 (北海道ブロック)	食品安全委員会 北海道	かでる2・7(北海道立道民 活動センター)1050号 室	平成20年11月26日 (水) ～27日(木)	1日目:13:30-17:00 2日目:9:30-16:30	13	2	2	5	2	2	齊藤/手塚 /岡田/隈本
3	秋田県 (東北ブロック)	食品安全委員会 秋田県	秋田県庁 第二庁舎4階 災害医療対策室	平成21年1月21日(水) ～22日(木)	1日目:13:00-16:30 2日目:9:30-16:30	15	9	3	1	0	2	齊藤/手塚 /岡田/隈本
4	福岡市 (九州ブロック)	食品安全委員会 福岡市	福岡市立婦人会館 大研修室	平成21年1月28日(水) ～29日(木)	1日目:13:00-16:30 2日目:9:30-16:30	25	15	3	3	0	4	小平/手塚 /岡田/隈本
5	大阪府 (近畿ブロック)	食品安全委員会 大阪府	大阪キャッスルホテル	平成21年2月3日(火) ～4日(水)	1日目:13:00-16:30 2日目:9:30-16:30	35	18	6	4	0	7	小平/手塚 /岡田/隈本
6	栃木県 (関東ブロック)	食品安全委員会 栃木県・宇都宮市	宇都宮市保健所 3階 大会議室	平成21年2月5日(木) ～6日(金)	1日目:13:00-16:30 2日目:9:30-16:30	46	9	20	9	1	7	小平/手塚 /岡田/隈本
7	広島市 (中国ブロック)	食品安全委員会 広島市	広島市保健所 3階 大会議室	平成21年2月19日(木) ～20日(金)	1日目:13:00-16:30 2日目:9:30-16:30	18	12	5	0	0	1	小平/手塚 /岡田/隈本

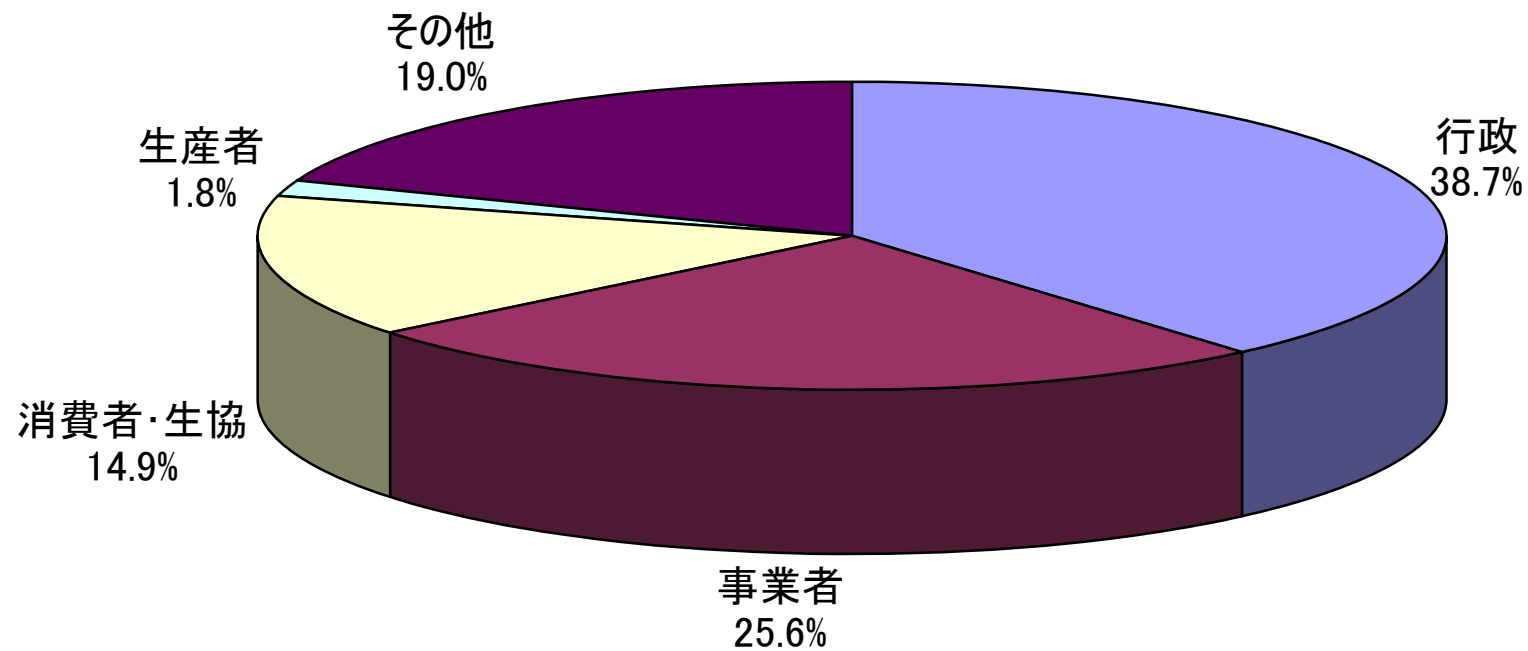
168	65	43	25	3	32
-----	----	----	----	---	----

1会場あたり平均参加者数:

24名

平成20年度 食品の安全性に関するリスクコミュニケーター育成講座
(インタープリター型)参加者内訳

参加者合計168名

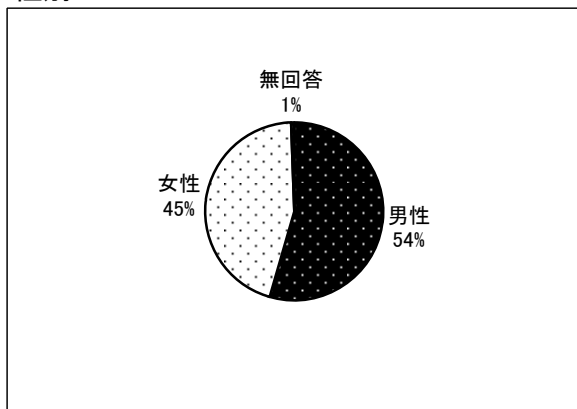


平成20年度 食品の安全性に関するリスクコミュニケーター（インタープリター型）育成講座
アンケート集計

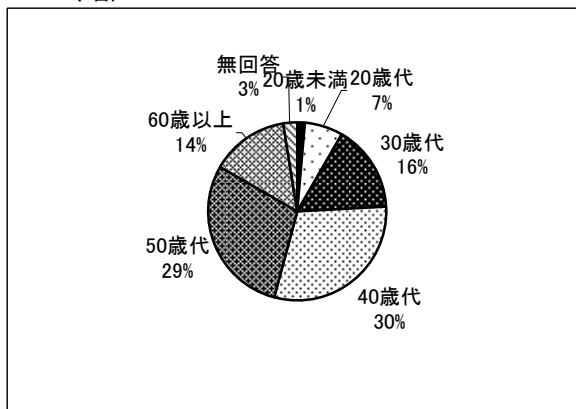
参加者数： 168名
アンケート回収数： 158名

<アンケート記入者について>

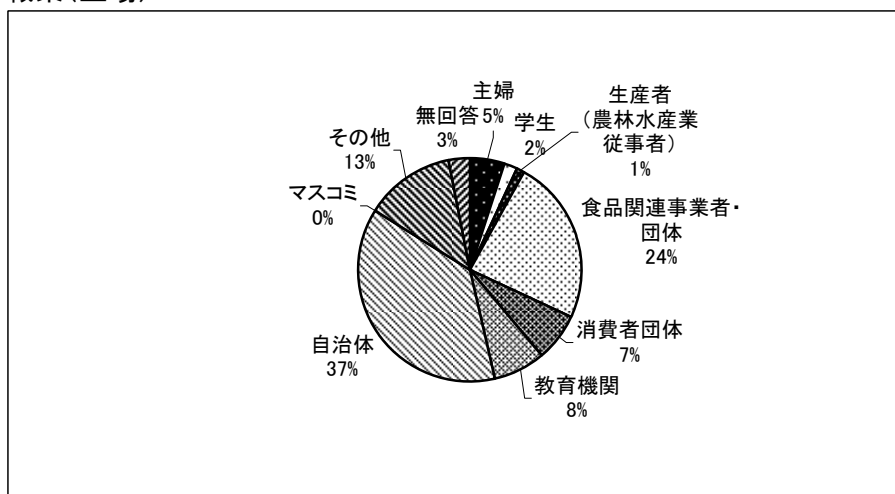
性別



年齢



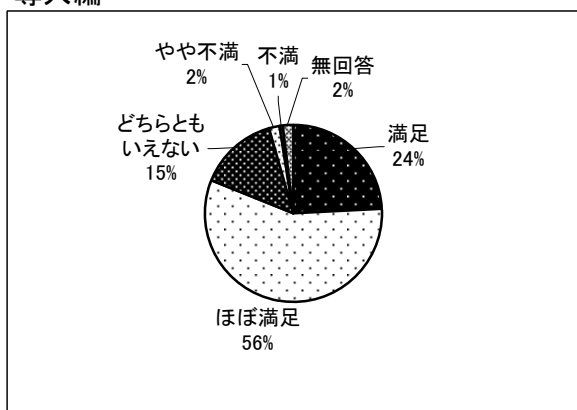
職業（立場）



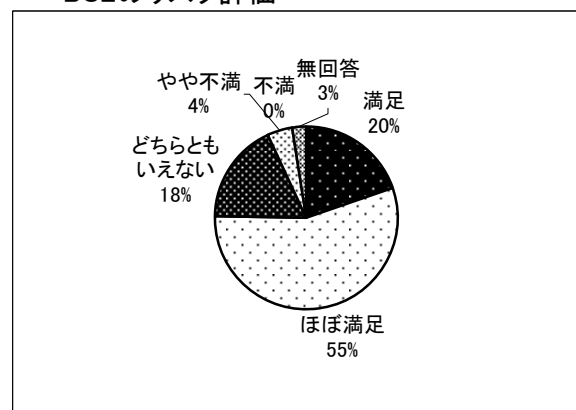
<1日目>

1. 今回の講座の内容はどうでしたか。

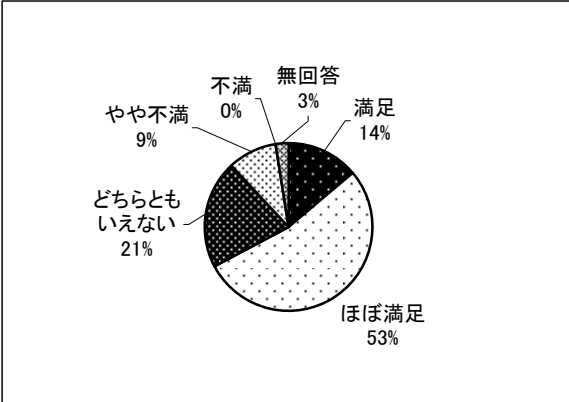
導入編



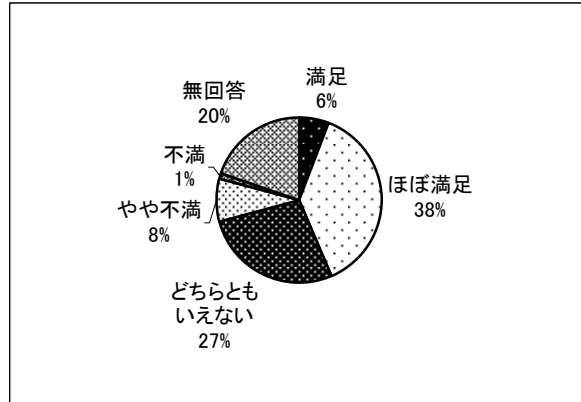
BSEのリスク評価



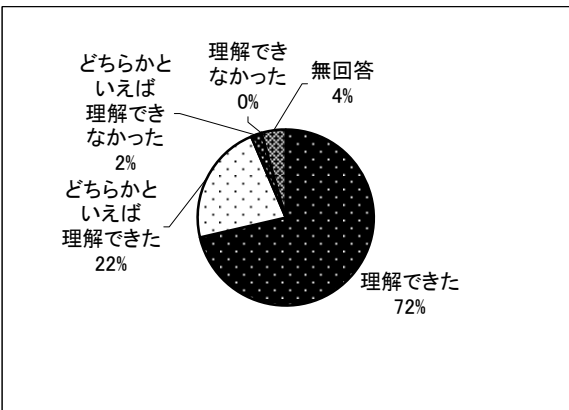
遺伝子組換え食品のリスク評価



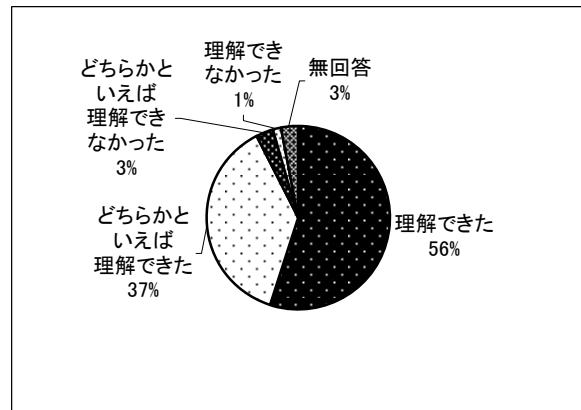
全国各地の事例紹介



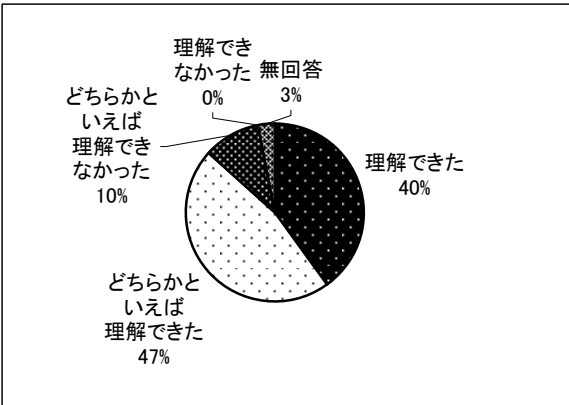
2. 講演の内容は理解できましたか。 導入編



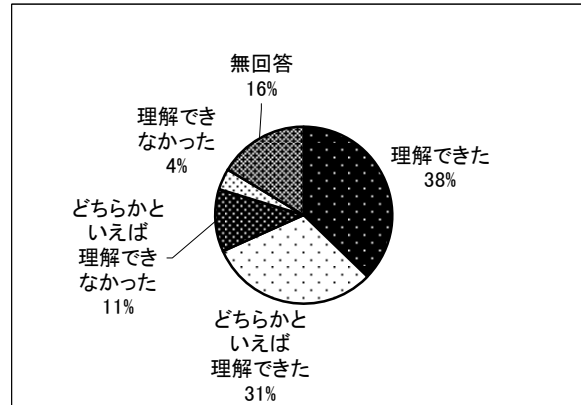
BSEのリスク評価



遺伝子組換え食品のリスク評価

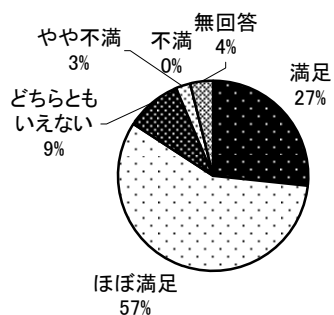


全国各地の事例紹介

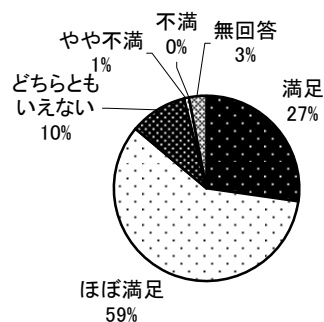


<2日目>

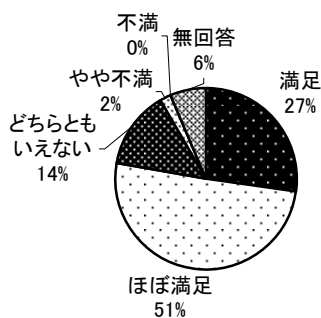
1. 講座の内容はどうでしたか。 農薬のリスク評価



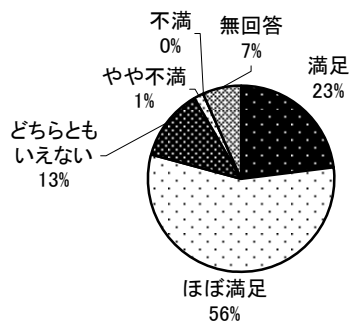
食品安全とリスク認知(講義)



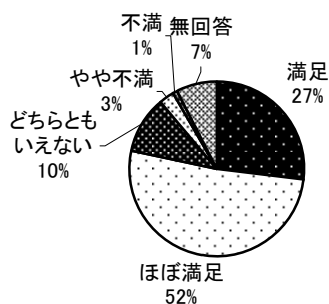
食品安全とリスク認知(グループワーク)



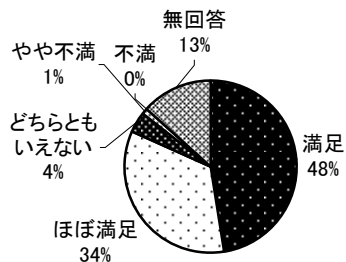
スキル編 食品安全とリスク評価(グループ発表)



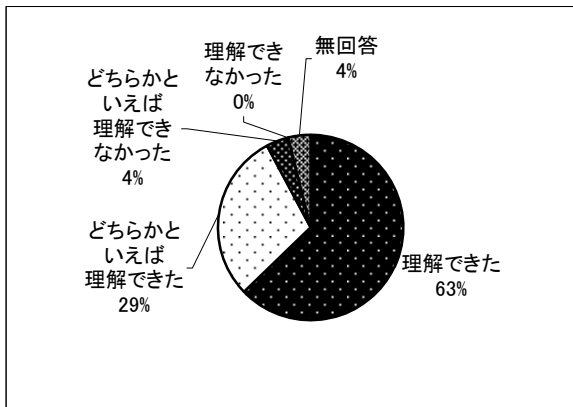
スキル編 自己紹介を活用した「話の伝え方」演習



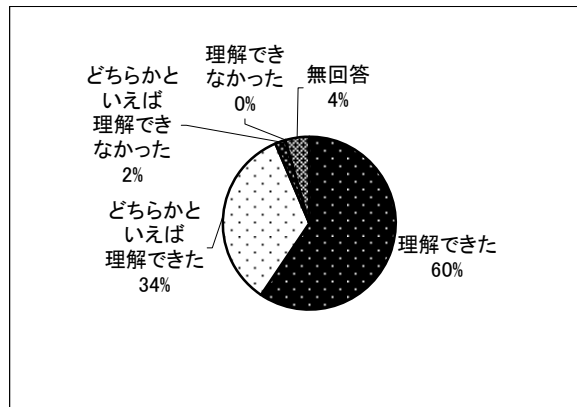
スキル編 講師プレゼンテーション



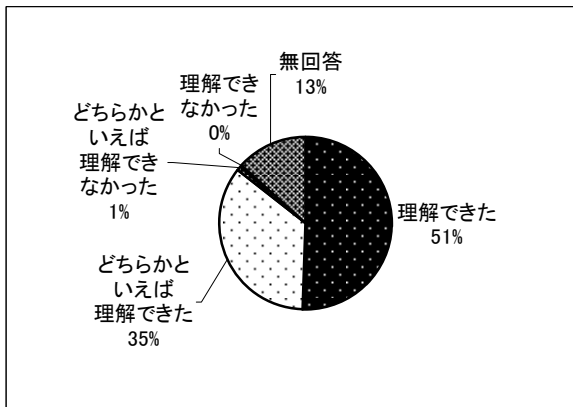
2. 内容は理解できましたか。
農薬のリスク評価



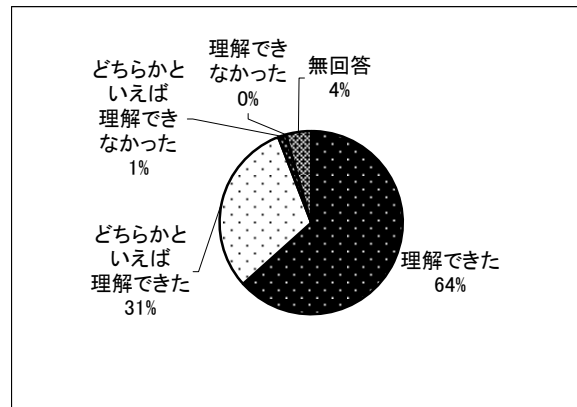
食品安全とリスク認知(講義)



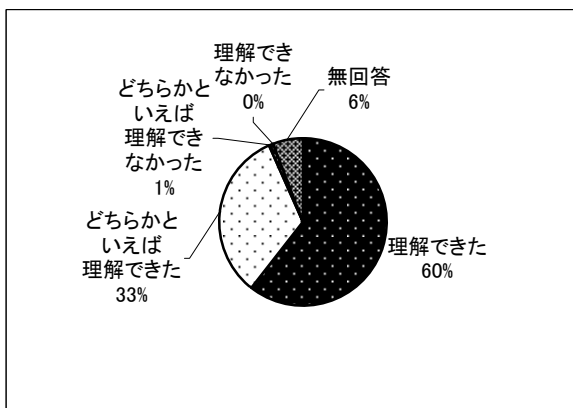
食品安全とリスク認知(グループワーク)



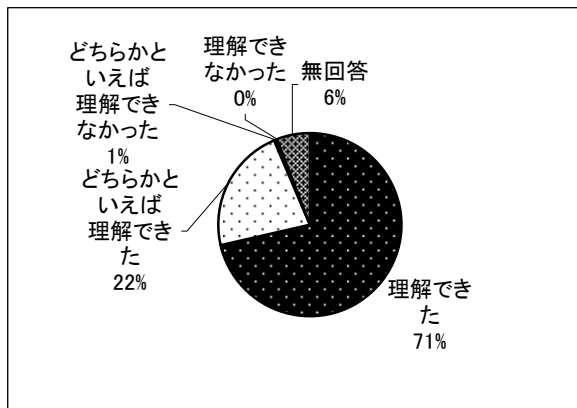
スキル編
食品安全とリスク認知(グループ発表)



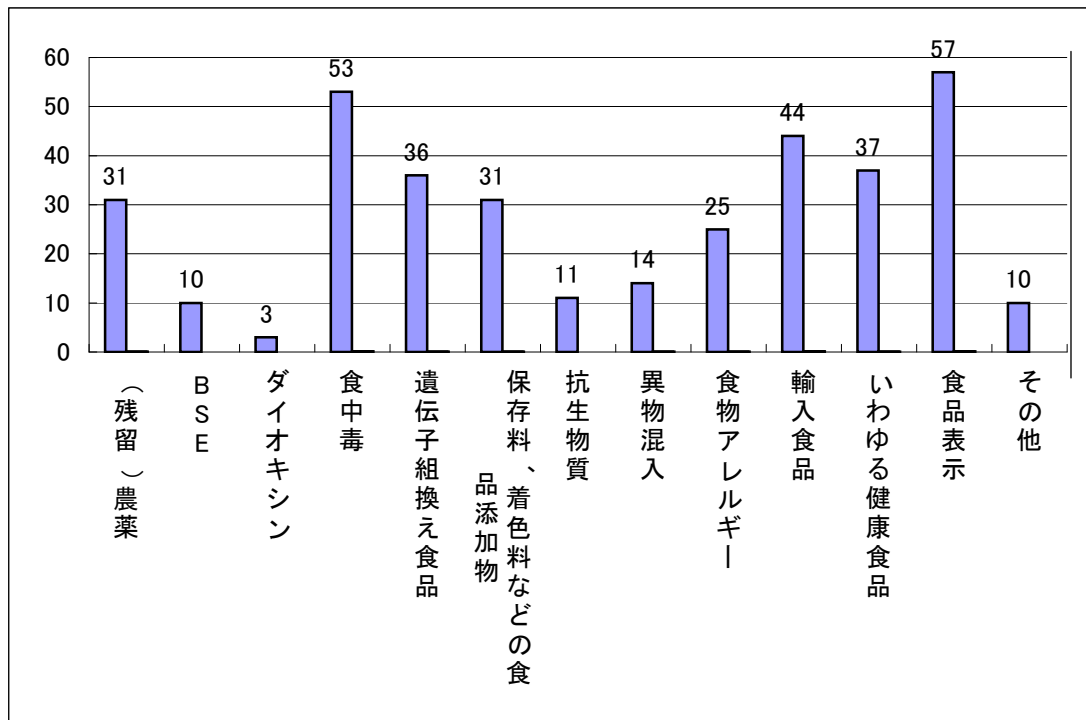
スキル編
自己紹介を活用した「話の伝え方」演習



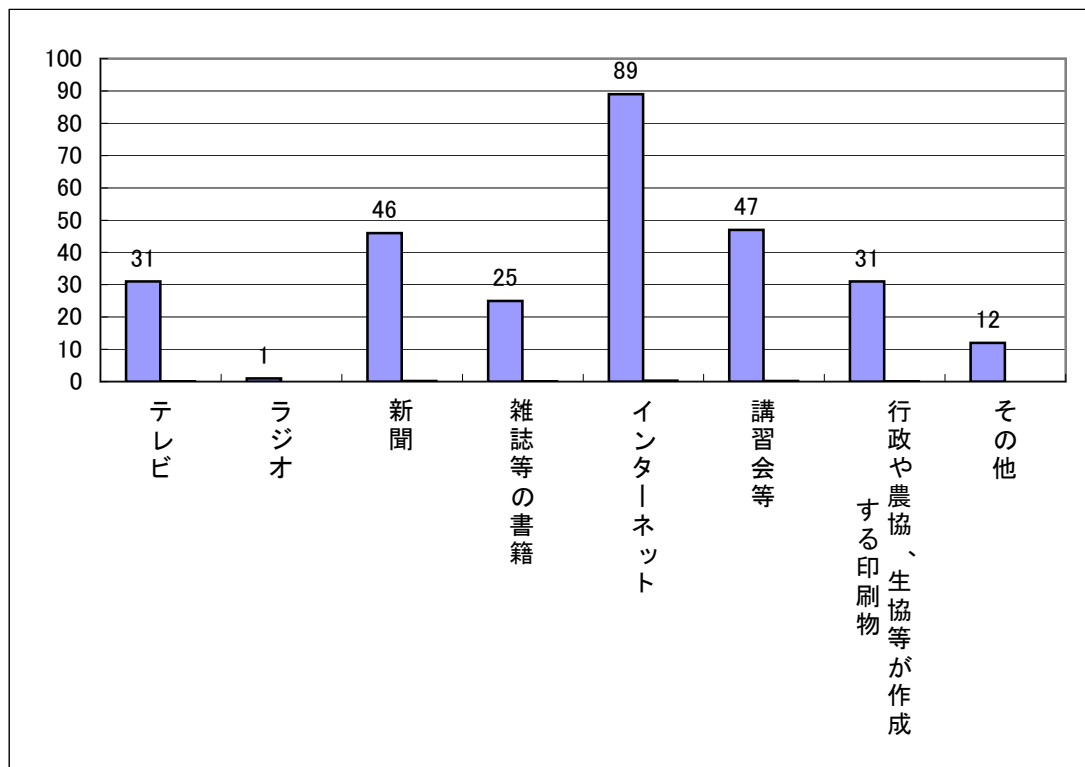
スキル編
講師プレゼンテーション



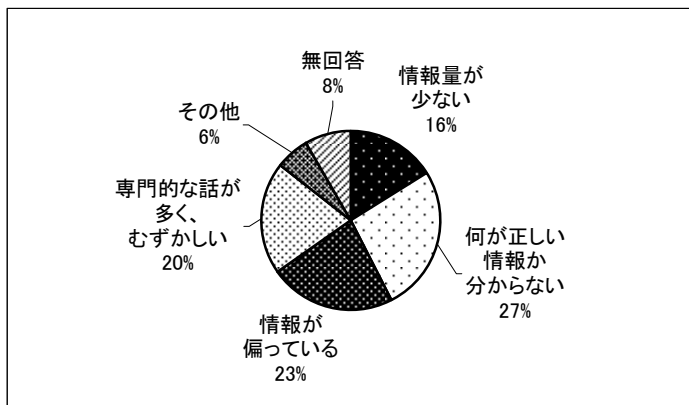
5. 食品の安全性に関して次のどの事項に不安を感じますか。(3つまで)



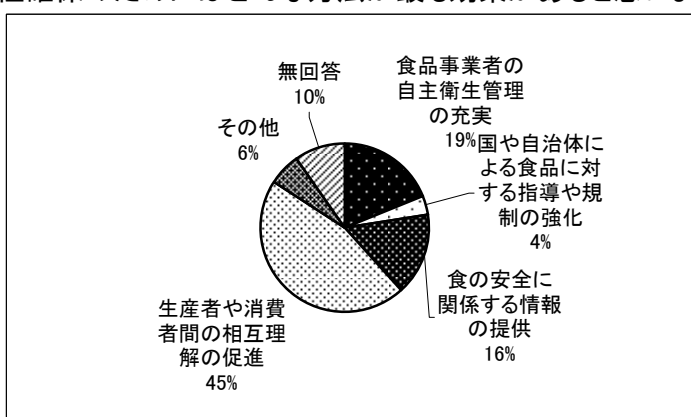
6. あなたは、食品の安全性に係る情報をどこから入手しますか。(2つまで)



7. 自分が接する機会の多い食品の安全性に関する情報のないようについて、どう思われますか。



8. 食品の安全性確保のためにはどんな方法が最も効果があると思いますか。



<コメント(1日目のアンケートより)>

第1日目の感想

(1回目(徳島県)、2回目(北海道)の講座が講義中心であったため、3回目以降は講義後にディスカッションの時間を取り入れ、)受講者からはディスカッションが有意義だったとの声があった。また、食品安全委員会のためのインタープリター活動に理解を示す意見がある一方で、行政機関の代理として活動することに違和感を感じるという意見もあった。

<コメント(2日目のアンケートより)>

第2日目の感想

リスクコミュニケーションの基礎が理解できた、また、グループ討議を通じて講義内容の理解が深まり、さらに新たな気づきがあり有意義だったという意見があった。一方で、リスク評価自体が消費者にとってなじみが薄く、説明の難しさを実感したという感想もあった。外来講師によるスキル編は、概ね好評であった。

活動していく上で、自治体や委員会からどんな支援があるとよいと思いますか？

プレゼンに使える資料、インタープリター用教材、地域のリスクコミュニケーション活動情報などの提供、また、受講者のネットワークづくりの支援などの要望が多かった。

今回の講座について改善した方がよい点、ご意見・ご要望等をお書き下さい

スキル編(自己紹介を活用した演習も含む)をプログラムの最初に持ってきてほしい、実践に役立つ事例を講座に取り入れてほしい、などの意見・要望が多かった。

その他、講座全体を通じて、ご意見、感想をご記入下さい

多彩なテーマで良い機会であり、今後さらにインタープリターとして活動できる場を提供してほしいという声があった。反面、1日半の講座にしてはプログラムが盛りだくさん過ぎて、講義、ディスカッションにはもう少し時間的余裕がほしかったという意見も多かった。また、講義内容がやや難し過ぎたとの意見もあった。